

ほしぞら探訪会 in
もがみ

2019年4月13日(土)

会場:大堀温泉 保養センターもがみ
住所:最上町大字大堀字蟹ノ又 1360-19
電話:0233-44-2355
参加費:無料

当日スケジュール

受付:14時30分

講演会:15時

「探査機による惑星探査のお話(仮)」会津大学 寺菌淳也准教授

「南極から見る宇宙―第2の地球を求めて―」東北大学 市川隆名誉教授

移動プラネタリウム:17時30分

特別番組「南半球の星空探訪」合同会社夢のほしぞら配達

天体観望会:18時30分から19時30分

参加者有志による

天体観望会は、大変冷え込みますので、帽子、上着、ホッカイロなど防寒具をお持ちください。

講演会の内容、講演者が都合により変更になる場合があります。

主催:「第11回星空案内人の集い」実行委員会

問合せ先:実行委員長 天文サークル星空の会 吉田裕

hiro-orion@vivid.ocn.ne.jp

ほしぞら探訪会inもがみ

南東北、北関東を会場にして、年1回、各地で星空の魅力を広める活動をしている方々の集まり「星空案内人の集い」が今回、4月13,14日に山形県最上町の「保養センターもがみ」にて開催されます。会場の「保養センターもがみ」には山形県内有数の口径 15cmの天体望遠鏡が設置されています。

今回「星空案内人の集い」開催を記念して、会津大学寺菌淳也准教授、東北大学市川隆名誉教授の講演会、移動プラネタリウムによる星空案内、天体望遠鏡を使った天体観望会を開催します。

講師紹介



「探査機による惑星探査のお話(仮)」

寺菌淳也氏 会津大学企画運営室(兼)先端情報科学研究センター准教授。専門は惑星科学、情報科学。月・惑星探査を中心とした情報システムの構築などを専門としています。また、月・惑星探査の普及啓発などにも努めています。月探査情報ステーション (<https://moonstaion.jp>) 編集長



「南極から見る宇宙—第2の地球を求めて—」

市川隆氏 東北大学名誉教授、日本天文学会前会長、第53次南極地域観測隊員(夏隊)専門は赤外線、銀河天文学。

私たちのからだをつくる物質はほとんど、星の中で生まれました。そのため、私たちは「星の子」と言われています。宇宙には地球以外にもたくさん「星の子」がいると考えられています。天文学者はそんな地球外生命を求めて、地球と環境がよく似た第2の地球を探しています。太陽系の惑星以外に、これまでどのような惑星が発見されたか、また南極の天文台に小さな望遠鏡を置いてそんな惑星を探す私たちの計画を紹介します。会場に「南極の氷」を持っていく予定です、ぜひ触ってみてください。



「南半球の星空探訪」

合同会社夢のほしぞら配達 福島県を拠点とし、東北地方で初となる移動プラネタリウムを使った事業を展開しています。代表の橋本靖之氏は、岡山理科大学で天文学を専攻。専門は変光星。

天体観望会

日本全国で天体観望会を開催している有志により開催致します。

特別展示

南極の氷、石

※掲載されている写真は全てイメージです

問合せ・お申し込み:「第11回星空案内人の集い実行委員会」委員長 天文サークル星空の会 吉田裕

hiro-orion@vivid.ocn.ne.jp